

社会福祉法人旭が丘学園

理事長 菅原 昭

この度は、赤い羽根・助成事業の社会福祉施設整備事業に申請いたしましたところ、お認め頂きありがとうございます。助成を受けます12の団体を代表いたしまして御礼を申し上げます。

今回、宮城県の赤い羽根共同募金の助成を受けますのは、私共の児童養護施設を始め保育所等児童関係施設がほとんどですが、それぞれの施設でのご支援の内容は違い、私共では調理場の「食器乾燥保管庫」購入の助成をいただきました。子どもたちの日常的に使用する食器の安全管理・保管には無くてはならないもので、14～5年経過し修理・修繕が常習的に行わなければならないということでしたので購入することで申請致しましたところお認め頂きました。

児童養護施設は国の社会的養護の推進で子どもは家庭で育つのが基本とし里親が推奨され、施設は地域化・小規模化・家庭化が求められております。

旭が丘学園でも昨年の令和4年度に国・県の助成を頂き二つ目の地域小規模施設を建築致しました。全体では70名の定員ですが地域小規模施設に6名の子どもが二つのグループに12名が生活し、又、全般的に子どもの数は減少しておりますが将来的に本園は、併設のグループホームと合わせて40名程度に減

員する予定です。しかし、食事を提供し給食業務で食器の管理・保管は続きますので、大事に長く使用できれば幸いです。

終わりになりますが、赤い羽根募金で集まったお金は、毎戸募金や街頭募金でボランティアの皆様方のご協力の下で集められました県民皆様方の浄財です。頂きました助成金で購入致しましたものには県民皆様の心が入っております。感謝と共に県民皆様には衷心より御礼申し上げます。ありがとうございました。